



学びの庭

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、
児童一人一人のよさと可能性を伸ばす。

〒400-0814 山梨県甲府市上阿原町491番地 電話 055-233-2447 FAX 055-233-2451 E-mail:tamamoro-e@es-jhs.kai.ed.jp

創立 明治5年
1872年

令和6年(2024年)2月1日

発行責任者 校長 山本英寿

竹のように「強く!、しなやかに!」

一年で最も寒い時期は、大寒の1月20日から立春の2月4日までと言われるとおり、寒さの厳しい日が続いています。日中に日差しがあっても気温が上がらず、暖かい春が待ち遠しく感じられます。さて、今年度も残すところあと2か月となりました。各学年での学習や生活もまとめの時期となります。

そこで、子供たちに話した「竹のはなし」を紹介합니다。竹が大空に向かってすすくと真っ直ぐに伸びる様子を、子供たちがすすくと成長する姿に重ねて見ることができます。竹の中は空洞なのに、とても強く頑丈、そしてしなやかで、ちょっとやそつとでは折れません。そして、竹の成長にとって大切なのが節。竹は節からどんどん伸びていくのだそうです。子供たちにとって、卒業式や入学式、修了式や始業式は、大きな「節」(「節目」とも言いますが)です。子供たちが、自分自身の「節目」を大切にするために、しっかりと3学期の自分の目標を大切にして、竹のように、強く、しなやかに、ぐんぐんと伸びていってほしいと願っています。今年もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



【3学期のあいさつ運動の様子】

「竹のはなし」

おはようございます。今日は、「竹」の話をしてします。竹の赤ちゃんは何か知っていますか? そうです。「タケノコ」ですね。では、「タケノコ」から長い竹には、どうやって成長していくか知っていますか? 竹は、初めから、ひたすら真っすぐにグングン伸びていく訳ではありません。竹は、「タケノコ」から少しずつ「節」を作って伸びていきます。ここを、「節」と言います。考えてみてください。節がないと、あんなに長い竹はすぐに折れてしまいますね。節があることによって、横から強い風を受けても、雪の重みに押し潰されそうになっても、折れることなく、しなやかに、しっかり伸びていきます。皆さんが成長していくうえでも、この「節」は大切です。人間にとっての、「節」は、立ち止まって、振り返り、考えるということです。自分を振り返ってみましょう。まず、これまで頑張り、成長できたな、と思うことを1つ考えてみてください。例えば、苦手だった漢字ができるようになった。算数の文章問題ができるようになった。勉強だけでなく、友達とたくさん協力することができた。ぽかぽか言葉を使って仲良くできた。係の仕事を頑張ってきた。たくさんチャレンジできた。などなど……。



反省だな、と思うことも1つ考えてみてください。先生の話をしっかり聞くことができなかった。友達とけんかをしてしまった。忘れ物が多かった。などなど……。ダメだったな、反省だなというところは、次の目標にすればいいんです。玉諸小の子どもたち全員が、「節」を作りながら、竹のように、たくましく、しなやかに、大きくなっていくことを願って、校長先生の話とします。

玉諸小ブログ2023や
学校だよりのHP版
をご覧いただけます。



全校たてわり清掃で校舎ピカピカ！



【全校たてわり清掃の様子】

本校では、「フェスティバルたまもろ」や「たてわり遊び」など異学年で学び合う、縦割り活動に取り組んでいます。そのうちの一つ、「縦割り清掃」の様子をご紹介します。1月23日、全校を24のグループに分けて、1年生から6年生までと一緒に清掃活動に取り組みました。全校たてわり班清掃の目的は、高学年は下級生の手本となる自覚や責任を持つこと、下級生はみんなで協力することの大切さを学ぶことです。また、これまで取り組んできた無言清掃の継承も目的の一つです。今回は、各たてわり班の教室と廊下の清掃を行いました。上級生が下級生に丁寧に掃除の分担を確認し、分担箇所の無言清掃にとりかかりました。聞こえてくるのは、ほうきを掃く音、雑巾がけの足音、机を動かす音のみ。手際よく各箇所をきれいにしていきます。掃除の終わりには、短時間で反省会を行いました。子供たちが、お互いがんばっている姿を認め合い、よりよい清掃活動について学ぶ機会となりました。異学年の縦割り活動を通して、協働による自信や成長を実感させ、子どもたちを更なる学びへと向かわせていきます。



● 日頃の訓練が大切！

今月、火災を想定した避難訓練を実施しました。地震が発生した時には、避難経路図に沿って近くの出口から外に出ますが、火災が発生した時には避難経路が変わってきます。火災が発生すると火災報知器が作動し、階段付近にある防火扉が閉まります。そのため、避難するときには階段に設置されている防火扉から避難しなければなりません。

今年になり、能登半島地震が発生しました。災害はいつ起こるか分かりません。子供たちが、自分で考え、自分で命を守る行動ができるように指導を続けていきます。



【避難訓練の様子】

● 心をこめて！校内書き初め大会

3学期が始まり、各学年ごとに校内書き初め大会を行いました。子供たちは、冬休み前から練習を重ね、3～6年生は毛筆、1・2年生は硬筆で、お手本をよく見ながら行いました。

子供たちは真剣な眼差しで半紙や書き初め用紙にむかい、書き終わると満足感、達成感でいっぱい笑顔でした。「字は心」まさに、その字には子供たちの凜とした心があらわれていました。今年一年、毛筆のほらいのように、子供たちが伸びやかにたくましく育ちますようにと、願って止みません。



【校内書き初め大会の様子】

● Let's try English !

令和2年度から、3・4年生の「外国語活動」は週1回、5・6年生の「外国語（英語）」の時間は、週2回実施しています。3・4年生では「聞く」「話す」、5・6年生では「聞く」「話す」「読む」「書く」が重視されます。今年度からALT（外国語指導助手）は、飯島マリア シャリー デグスマン先生に代わりました。先生たちの英語に刺激を受け、子供たちは笑顔で学習に取り組んでいます。よりグローバル化される世界で生きていく子供たちには、外国語に親しんでほしいです。



【外国語(英語)の学習】

● たまもろ元気プロジェクト！

体育委員会の主催による「たまもろ元気プロジェクト」の取組が行われています。「みんなでのしく体を動かそう！」を目標に、学年の壁をこえ、元気に校庭で遊んでいます。2学期は、長縄に取り組みました。異学年の友達でチームを作り、何回跳べるか挑戦しました。3学期は、体育委員会がいろいろな遊びを紹介し、いつでも遊べるように校庭にそれぞれの遊びの場をつくってくれました。校庭には、子供たちの笑顔と歓声でいっぱいになりました。



【竹馬に挑戦】

